

みんなごとのまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク 市民協働推進コーディネーター 進捗報告

Vol.06
平成29年
10月



コーディネーター：日高由紀

活動成果
が実っています♪



～バリアフリーからユニバーサルデザインへ～
「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザインガイドマップ」 広がっています

お宝No.189 京都光華女子大学ユニバーサルデザイン研究会

障害保健福祉推進室

観光MICE推進室



「ユニバーサルデザイン (UD)」とは…?

車椅子の利用者でもあるノースカロライナ大学 ロナルド・メイス教授が、自らの体験から、障がいのある人にとって特別な存在として扱う事になり、どうしても気持ちにバリアが生まれてしまう。だったら、**最初からみんなにとって使いやすいもの**をつくればよいのではと提唱したのがはじまり。
(「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザインガイドマップ」より引用)

昨年度、京都市障害保健福祉推進室主催の「ユニバーサルデザイン京都フォーラム2017」で初お披露目した京都光華女子大学ユニバーサルデザイン研究会が企画・編集した「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザインガイドマップ」(以下「UDガイドマップ」)の反響が少しずつ広がっています。先日も、市内の会員制ホテルから、UDガイドマップが利用者に好評を得ているとのことで、新たな配架依頼があったとの嬉しいお知らせをいただきました。

多くの方々にUDガイドマップを手にとっていただくために、様々な場所に配架をする必要があります。今年度は、まちづくり・お宝バンク取組提案団体のほか、観光MICE推進室の協力で京都市内の観光案内所でも広くマップ配架依頼をしました。テレビや新聞、企業関連のサイトでも取り上げられましたので、すでにご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

昨年度は、四条通り界隈のUDガイドマップを発行しましたが、今年度は第二弾として、京都駅周辺でのUDガイドマップ作りのための調査を開始しています。

研究会に所属する学生と顧問の井川教授が現地調査・編集やマップデザイン、スポンサー依頼など全て自分たちでおこなっており、「一度作っておしまい」ではなく、新しい情報を更新・改訂する必要もありますので、みなさまのご支援・ご協力を必要とされています。

完成したマップを配架します!

スポンサーになって広告掲載します!

マップに掲載できる新しい情報があります!

という方も募集しておりますので、まちづくり・お宝バンク取組提案No.189「ユニバーサルデザインマップの作成」の「ご意見・応援フォーム」からも情報をお寄せください。

活動成果
が実っています♪



～寄贈図書でまちの居場所の活性化を目指して～
「ことしよ」新設しました★

お宝No.90 チーム「居場所いいばしょ」

京都市未来まちづくり100人委員会からスタートしたチーム「居場所いいばしょ」は、それぞれが持っている“まちの居場所”に市民の皆さんから寄贈してもらった本を設置して自由に読める本棚を設置する「ことしよ」(「古都」+「図書」=「ことしよ」)という活動をしています。昨年度から、まちづくり・お宝バンクつながりて設置準備をしていた「ことしよ」が、10月に左京東部いきいき市民活動センターに新設されました。その他、同月に北いきいき市民活動センターにも新設され、オープニングイベントも開催されました。

観光地にも程近い場所にありますので、休憩がてらお近くにお越しの際はのぞいてみてください。



北いききセンの「ことしよ」は、本館向かい側の広い緑側のある施設内にあります。
奥は畳のフリースペースになっていて、地域の方が囲碁をしたり、テレビを見たり、それぞれが思い通りに利用されていました。

左京東部いきいき市民活動センターの「ことしよ」



北いきいき市民活動センターの「ことしよ」



【お宝バンク取組提案者の連携編】

まちづくり・お宝バンク取組提案者同士がつながってできた新たな活動

活動成果
が実っています♪



食品ロス対策×コミュニティ食堂

お宝No.248 西喜商店



「おいでやす食堂」みんなの食堂制作委員会

取組提案名：廃棄野菜をおいしく使い切る～京都のフードロス対策を考える～

食品ロス対策をコミュニティ食堂で活かすモデルづくり

市場で余ってしまう野菜や果物を福祉の現場で活用する提案を出された八百屋の西喜商店の近藤さんと、地域のみんが参加できるコミュニティ食堂「おいでやす食堂」を運営する「みんなの食堂制作委員会」（高齢者福祉施設西院）が連携して、10月から新たな活動をスタートしました。

八百屋さんから届く安価でおいしい野菜を食堂に配達してもらえることで、コミュニティ食堂を運営するスタッフの負担は軽くなり、これまで廃棄せざるを得なかった野菜の引き取り手ができることで食品ロス対策にも貢献できる、新たな動きに注目しています。



西喜商店の近藤さんは、まだまだ商品価値のある野菜や果物をなるべく廃棄せず、お互いが消耗することなく活かせる仕組みを考えたいと思い、まちづくり・お宝バンクに提案を出されました。

毎月第3金曜日17時～19時半に開催される「おいでやす食堂」では、西喜商店の野菜も格安で購入できます。その他、地域のボランティアのみなさんによる子供向けの遊びコーナーや読み聞かせコーナーもあり、子供から高齢者までたくさんの人で大盛況です。

“みんなごと”のまちづくり推進事業イベントで話題提供

活動進化プログラム公開講座にて話題提供

お宝No.240 「認知症にやさしいまちづくり」のためのランニングイベント～RUN伴～



北海道から沖縄まで、認知症にやさしいまちづくりのためのアクションとして実施しているランニングイベントの京都市内実行委員を担うメンバー田端さん、城山さんが、9月15日開催の活動進化プログラム公開講座～広報術～のお宝バンク取組提案ゲストとして登壇しました。取組提案の紹介と、10月22日に開催するイベント「RUN伴」の広報面での課題や取組のアイデアについて参加者と一緒に考える時間を設けました。

会場からはたくさんの質問が出され、広報術以外にも、そもそものイベントの目的を考えるような自由なアイデアや意見が出され、「RUN伴」実行委員会だけでなく、参加した各々の団体にとっても共通する課題もあったようで、みんなが自分たちの活動に活かせる学びの時間となったようです。



まちづくり・お宝バンク取組提案者の新たな挑戦!を紹介

多種目スポーツ体験による健康促進・地域活性への貢献

お宝No.244 紫光サッカークラブ

京都サンガ発祥の地でもある北区紫光サッカークラブは、スポーツを通したまちづくりをテーマにした事業「スポーツキャラバン」に取り組んでいます。その取組として「多種目スポーツキャラバン」を開始しました。柏野学区の体育振興会との連携が実現し、記念すべき第1回目は、紫光サッカークラブの得意分野であるサッカーを通してスポーツの楽しさを体感することを目的に、地域の親子を対象に開催しました。小学生～中学生、保護者も一緒になって、社会人選手の指導のもとサッカー教室に参加しました。最初は緊張気味の様子でしたが、プログラムが進むにつれ動きが活発になり、元気にグラウンドを走る様子が見られました。



メンバーの砂原さんからも活動報告をいただきましたので、お宝バンクサイトに掲載しています。こちらもぜひご覧ください。

<https://tsukuru-kyoto.net/bank/244-2/>